

## 年表・ASD(自閉スペクトラム症)児等の教育

(年)	世界情勢・障害の概念	ASD 研究・概念・治療法
1960	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1945 第二次世界大戦終結、日本無条件降伏 日本で普通選挙実現 (20 歳以上男女に選挙権)</li> <li>・ 1948 GHQ が日本に経済安定9原則を指令</li> <li>・ 1949 中華人民共和国成立</li> <li>・ 1950 朝鮮戦争勃発</li> <li>・ 1951 サンフランシスコ講和条約に調印、 日本の独立を回復</li> <li>・ 1955 アジアアフリカ会議開催</li> <li>・ 1956 日本が国際連合に加盟</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1943 カナーが「情緒的接触の自閉的障害」を報告。翌年「早期幼児自閉症」と命名</li> <li>・ 1944 アスペルガーが「小児期の自閉的精神病質」と題した論文を発表</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1964 日本が OECD (経済協力開発機構) に加盟 東京オリンピック開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1967 ジョンソンとマイクルバスト『Learning Disabilities』(日本語版は1975 森永良子・上村菊朗 訳『学習能力の障害—心理神経学的診断と治療教育』)を刊行。ASD の認知障害をよく説明している</li> <li>・ 1968 平井信義『小児自閉症』を刊行。ASD は母子関係の障害による社会的ひきこもり状態、ASD 児は高い潜在能力を有すると説く</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1973 第一次石油危機</li> <li>・ 1975 国連「障害者の権利宣言」採択</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1970 平井信義・石井哲夫『自閉症児の治療教育』を刊行。自閉症心因説の考えをもとに、母子関係の改善と情緒の安定を図るためのプレイセラピーを主とした受容的アプローチを提唱</li> <li>・ 1970 頃から ウィングらロンドン学派の考え方が徐々に浸透 (→日本へは 1975 年前後に紹介される)。認知・言語・対人関係の障害。スペクトラム概念の考え方 (ウィング、ラター等)。認知障害 (ハームリン、オコナー)。ほぼ同時期に米では行動分析理論に基づく治療教育法が提唱される (ロバース。→日本へは 1979 年に紹介される)</li> <li>・ 概念の混乱: カナータイプ (自閉的孤立状態が顕著) / アスペルガータイプ (奇妙な印象の対人行動を示す) 論争が起こる</li> </ul>
1970		